



全国高校生体験活動顕彰制度

「地域探究プログラム」オリエンテーション合宿

実施期間：令和5年9月6日(水)・10月11日(水)・18日(水)

目的・趣旨

「地域探究プログラム」は高校生の体験を通じた成長を目指し、改訂された学習指導要領のキーワードである「探究」の手法を用いて学習を深める制度である。オリエンテーション合宿を通して、ものごとを探究する姿勢、主体的に取り組む態度、課題に向き合う力などを育成する。

事業概要

【参加者数】 13名

【実施内容】 □仲間づくり活動

□地域貢献活動についての講義・フィールドワーク

【外部指導者】(講師) 筒井 惇貴 氏(元上越市地域おこし協力隊)

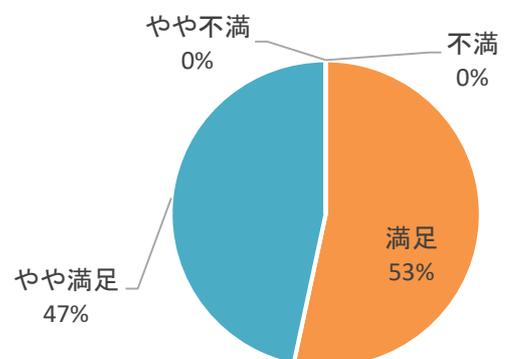
事業のポイント

- 新潟県立久比岐高等学校の「総合的な探究の時間」の授業サポートとして実施した。
- 久比岐高校の所在地である上越市柿崎区で地域の魅力を高めるために活動している方の話を聞き、実際に現地で体験活動を行うことで、高校生の地域に対する理解を深めることを目指した。
- 高校生同士の相互理解を深めるために、グループでの仲間づくり活動や話し合い活動を実施した。

成果

- 参加者の事業全体をとおした満足度は、「満足」「やや満足」を合わせて100%となった。
- 過疎化や人口密度の局地化が進む中で、地域の魅力を継承し、さらに高めるために活動している地域おこし協力隊の取組について理解を深めることができた。
- 地域おこし協力隊の活動から、探究の手法について実例を基に学ぶことができた。
- フィールドワークでは、古民家の塗装や復田のための用水路整備を行い、高校生が積極的に活動に取り組む姿が見られた。
- アメリカから上越市柿崎区に移住してきた方とも交流できて、フィールドワークのよさを実感することができた。

参加者満足度



フィールドワークの様子



移住者のお宅訪問



高台からの絶景を望む



古民家を見学



古民家の修繕作業



復田のための用水路整備

参加者の声

- 景色がとてもきれいでいいなあと感じました。筒井さんの家に行って屋根裏に登った時にすごい古い家だと感じました。
- チームのみんなで協力して用水路をきれいにするのが楽しかったです。
- 用水路の水が流れた時の達成感がすごくあって楽しかったです。他の地域にも同じようなことをしている人たちがいると思うとすごいと思いました。
- 普通に生活していたら見ることができないものをたくさん見て学ぶことができました。様々な体験を通して、地域の良いところ、改善していかなければならないところを知ることができて良かったです。

課題

- 今後は同様のカリキュラム設定で他の学校への汎用性を高めていくことが必要になると感じた。研修支援プログラムとしての実用に向けてさらなる改善を目指していく。